

園医の ひとこと

子どもたち、変わったでしょう
～この点をチェックしてください～

友だちはできたでしょうか？

- どんな友だちか聞いてみましょう。
- 何人ぐらいできたでしょうか。
- けんかはしないのかな？

ちょっと生意気になってきたかな？

- 入園前に比べると生意気なことも言うようになったのでは？
- 遊びも活発になり、注意すると、生意気なことを言うたりしませんか。

保育所での生活のことを話しますか？

- なるべく子どもの話すことを聞いてください。
- 何かを詳しく聞こうとすると、「それは秘密」などということが増えてきます。

ひとまわり大きくなったでしょ！

- 毎日、決められた時間に保育園へ通うことができきた子どもを見ると、急に大きくなったような感じがしませんか。
- 入園当初の身体計測値と、今の身体計測値を比べてみてください。一それ程大きくなっていなくても、ひとまわり大きくなったように感じませんか。
- 何が変わったでしょうか、何が大きく見えるでしょうか。

何回病気で休みましたか？

- 初めて集団生活をこの春からスタートさせた子どもは、何回か休みをとっているのではないのでしょうか。病気を乗り越えて免疫を獲得し、除々に丈夫になっていきますので、ある程度は仕方がないことなのです。

上記の点をチェックして子どもたちの成長を実感してみませんか。半年前と現在を比べてみると、子どもたちは立派に成長しつつあることでしょう。



夏から秋にかけての
感染症

保護者の役割

感染症対策

1. 厚生労働省『保育所における感染症対策ガイドライン』を確認しておきましょう。

1) 登園のめやす

どの感染症にかかっても、以下に示す2点が登園の際のめやすとなります。

- ①染力が低下して、登園しても集団感染にならない。
- ②子どもの状態が、毎日の集団生活に支障がないところまで回復している。

各疾患ごとの登園のめやすは、学校保健の場合と多少異なりますので、厚生労働省『保育所における感染症対策ガイドライン』で確認してください。

2) 登園する際

○医師の意見書が必要な感染症

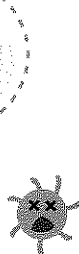
麻疹、風しん、インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎、結核、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、百日咳、腸管出血性大腸菌感染症の10疾患

上記の10疾患は、保育現場において非常に感染力が強く、対応に苦慮する感染症ですので、特に登園に際しては医師の意見書が必要な感染症と位置づけられています。

○保護者の登園届のみでよい感染症

溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎、手足口病、伝染性紅斑、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、帯状疱疹、突発性発しんの9疾患

上記の9疾患に関しては、特に医師の意見書は必要ありませんが、保護者の責任で登園届（見本の書式あり）を提出する必要がある疾患と位置づけられています。これ



保育所の 感染症対策

『保育所の感染症・病気をめぐって』④

日本保育園保健協議会 会長
浜町小児科医院 医師 遠藤 郁夫

らについても厚生労働省『保育所における感染症対策ガイドライン』（24ページ）で確認しておいてください。

【URL】 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/hoiku02.pdf>

2. 保育園の感染症対策には、園の職員と保護者が一緒になって検討し、積極的に協力しましょう。

それぞれの感染症によってその対策は多少異なります。さらに流行前と流行期では当然対応は違ってきます。

園の職員と保護者が一体となって有効な対応策を模索し、協力して実施してください。

3. 感染症情報にはいつも気をつけておきましょう

① 保育園における流行状況

保育園では感染症が流行したり、その兆

しがある時には掲示板や保健だよりを利用して保護者へ連絡しております。

医療機関を受診する際には、保育園に通園していることと同時に園での流行の現状を医師へ必ず報告しましょう。

② 生活圏における感染症の流行状況

自分の生活している市区町村における感染症情報については市区町村のホームページなど、どこに掲載してあり、どのような情報が得られるのか、前もって調べておき、時々チェックしましょう。

③ 広域での感染症の流行状況

インターネットで検索すると、国や県レベルの感染症情報のサイトが見つかります。時々検索しておいてください。例えば、前号（7月号）でご紹介した保育園サーベイランスのサイトで調べることができます。

食中毒や夏のかぜ（手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱など）も夏から秋にかけて流行します。

溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎などは冬に向かってだんだん増加していきます。昨年はマイコプラズマ肺炎が非常に流行しました。

秋になると冬の病気（インフルエンザ、RSウイルス感染症）なども少しずつ流行し始めます。なお、冬の病気の流行し始める時期が最近次第に早くなってきていると言われています（季節性が余りはっきりしなくなってきているようです）。